

# 柏崎体育

発行所 柏崎体育団

編集者 近藤康信

印刷所 (株)柏崎インサツ

'95かしわざき風の陣

— ウィンドサーフィン世界大会選考会 —



六月一日から四日まで全国各地から男子百一人、女子二十九人が参加して中央海岸沖でのレースが行われた。沖合は約三メートルの微風。おだやかゆえに悪コンディションとはヨットレースならではの表現。

優勝者には南アフリカでの世界選手権への航空券が贈られる。

この間海岸の漂着物を使った全国初の「ビーチコーミング大会」、山会場の鶴川でも綾子舞など多彩な催しが行われた。

## 春の叙勲(勳五等双光旭日章)

### 月橋名誉団長が受章

「スポーツ振興功労・地方自治功労」6月22日に祝う会

叙勲を祝う会に三三〇名余の方々が参加され、ユニークな祝辞に笑いがあふれ月橋さんにふさわしい会に終始し、一時間のセレモニーが少しも苦痛を感じなかつた。その一節を。

▼多才な顔ぶれで三六〇度どちらでも来いといつた人脈に驚いたが、月橋さんの服装にもた

(西川正純市長)▼体育人としての三つの要素、意志の強さ、明朗かつ達、健康を実践して備えておられる事に敬服している。(上村征夫県保健体育課長)

▼信念の強さは敬服するもの。今だに物のルーツを探るといふ好奇心を失わない少年のようであり、青年のような初々しさを持っている。奇人ばけものだ。(丸山敏彦議長)▼七十年半ばと思つたら八十三才という。四十年前と同じ顔だ。近藤禄郎さんと同級生だといふが近藤さんは九十すぎていると思つた位で近藤さんが常識的顔だ。鯛なあのかかった骨もみ



ユニークで楽しい街。人間は医学的に八十才すれば大体想像がつくもんだが月橋さんの明治の氣骨は怪物にコケが生えたよなうもんだ。(立川晴一県体協前会長代行副会長・柏崎厚生病院理事長)▼月橋さんはいっぱい表彰されるもんだからその度に俺が友人代表で引っぱり出されれるんで、しゃべることがないやんなっちゃう。常に自分を克服して生きてこられた人だ。こんだ歎一等だ。(近藤禄郎体育団顧問)▼バイタリティの固り。研究心旺盛な万年青年。これなんか生える間もなく百三十才まで生きる。(植木馨会議所会頭)▼スポーツ振興と自治功劳の二つが認められてうれしいと思ったが、人は一つで受章するのに俺は二つでやっと認められたと思うと複雑な気もする。テレビの取材で女性アナが自宅に見えた。「お父さんおられますか」「私が本人だ」「ギャー!!」。これには留飮が降りた。私はきまつた事はやれない、真似が出来ない性格。昔、月橋殺すに刃物はいらぬ、戸籍課長にすればいい」とも言われた。困つた事があるとファイトが湧く。今ますます勇気がみなぎつてくらの気持ちです。(月橋さん)

んな喰ってしまう。怪物ではなく怪獣だ。(東山英機県議)  
▼柏崎は人情溢れる明るい街。ユニークで楽しい街。人間は医学的に八十才すれば大体想像がつくもんだが月橋さんの明治の氣骨は怪物にコケが生えたよなうもんだ。(立川晴一県体協前会長代行副会長・柏崎厚生病院理事長)▼月橋さんはいっぱい表彰されるもんだからその度に俺が友人代表で引っぱり出されれるんで、しゃべることがないやんなっちゃう。常に自分を克服して生きてこられた人だ。こんだ歎一等だ。(近藤禄郎体育団顧問)▼バイタリティの固り。研究心旺盛な万年青年。これなんか生える間もなく百三十才まで生きる。(植木馨会議所会頭)▼スポーツ振興と自治功劳の二つが認められてうれしいと思ったが、人は一つで受章するのに俺は二つでやっと認められたと思うと複雑な気もする。テレビの取材で女性アナが自宅に見えた。「お父さんおられますか」「私が本人だ」「ギャー!!」。これには留飮が降りた。私はきまつた事はやれない、真似が出来ない性格。昔、月橋殺すに刃物はいらぬ、戸籍課長にすればいい」とも言われた。困つた事があるとファイトが湧く。今ますます勇気がみなぎつてくらの気持ちです。(月橋さん)

#### 賛助会員加入のお礼

#### 本年度会費協力のお願い

賛助会につきましては、毎年、市内各方面の企業、団体、有志各位から力強い御協力を賜り心より御礼を申し上げます。

この会員制度は、ご案内のとおり、当体育団の事業趣旨に御賛同の皆様から御協力いただき、本市民のスポーツ振興と強化、健全体力向上など本団の諸事業推進の財源として活用させていただくものです。

本団では、普及振興事業としては、広報機関紙「柏崎体育」の発行、スポーツ指導者の養成、チングサミットの開催等、その他スポーツを通じての国際交流やスポーツ医科学体制の整備など三十六の加盟団体が、柏崎市の体育スポーツの諸施策と連絡しながら、組織をあげて取り組んでいるところです。

本年度の事業、予算は、本紙四頁のとおりです。大変、経済情勢厳しき折ではありますがあまりよろしくお願いいたします。

こうした実情の中で本団では、平成九年の創立七十五周年を目前に、加盟団体並びに賛助会員の御理解や市ご当局の御支援をお願いし、募金活動に努めて参りたいと存じます。請事ご多端の折ですが、趣旨にご賛同下さいまして、格別のご支援ご協力をお願い申し上げます。

#### 「柏崎市スポーツ振興基金」へのご理解とご協力について

本団では、新時代の健全な人づくり、活力ある地域づくりはスポーツで――を目指して、柏崎体育団スポーツ振興基金を造成することとし、平成三年十二月、恒久的資金源総額一億円の確保を目標に募金活動を計画いたしました。

募金目標達成後は、その果実等による基金活用事業として、市民のためのスポーツイベント開催、ジュニアスポーツクラブ等の育成、優秀選手及び指導者の確保などが期待されます。

しかし、スタート直後、厳しい経済不況に見舞われ募金活動は停滞、停滯してしまいました。不況の風は現在も治まらず、景気回復の兆は見えにくいものの、市民の体育スポーツへの要請、関心は年々向上、多様化しております。

本団では、新時代の健全な人づくり、活力ある地域づくりはスポーツで――を目指して、柏崎体育団スポーツ振興基金を造成することとし、平成三年十二月、恒久的資金源総額一億円の確保を目標に募金活動を計画いたしました。

# 柏崎工業高校 陸上競技部

顧問 卷口 実

スポーツは未開社会から行われたことは、スポーツ史やスポーツ人類学の研究によってよく知られるところである。だからスポーツは歴史があり、文化として発展した。そこには数々の名選手が現れスターとなり伝え继がれている。

スターは、更に精進して卓越した技量と美しいスポーツマンシップの發揮によって見る者を感動させ尊敬を受ける。新しいスターが現れるたびに、競技ス

## 柏崎卓球ジュニア 柏崎二コーウェーブ



会長 太田 晃

平成7年5月7日、日曜日。  
時間を忘れる程興奮したことを思ひ出します。小学生の団体戦

(ホーブス)の大会です。相手は昨年全国大会ベスト16の黒崎町ジュニアチーム。全国大会出場を賭けての戦いは2対2のまま最後の一人で決まる形となり誰の目にも緊張しているのがわかります。結果は接戦の末勝ちましたが、今までに子供達がこれほど緊張した場面があつたろうか。将来を考えると大き

す。

な心の財産になつた様に思いました。同じ志を持つ女子チーム「柏崎ウイニング」も全国大会に出場します。柏崎の小学生チームが男女共での全国大会出場は初めてです。

出場出来た今思うことは、努力すれば必ず目的を達成出来るという事で、私自身その事を痛感しております。子供達も彼らなりに十分感じていると思います。

協会は現在十三団体二三三名で、他に四団体が各コミュニティ体育館を利用し、総合練習は市総合体育館で、技術の向上を計つて参りました。楽しく笑いの練習の中で、めきめきと技術は大きく伸びました。一生懸命努力をし、血のにじむ様な思いをして成り遂げた全国大会への出場、今は

ただ子供達へ感謝の意をこめて大きな拍手を贈りたいと思いま

いたくなるほどである。

柏崎工業高校陸上競技部も県に全員で取り組んでいる。県高校総体陸上競技対抗選手権大会で昨年は三位、今年は二位と前進をし頂点を目指している。和は勝ちとりそれがスターになりかけている。この中から全国で活躍できるスターが誕生することを願い、この良い環境で勝ちとりそれがスターになっていきたい。

OBV発祥の地は、下越の中条町です。当市では、中鯖石・北条両地区が早くから始めたと聞いております。中条町に出掛けて講習を受け、高齢者の健康づくり、ふれあい活動、助け合いの精神等の長所が多いと感じ、各地区に積極的に出向いて、OBVを始めるようにお願いしましたら、格別の協力を得て、年々盛んになりました。各方面から御支援・御鞭撻をいただき、生涯スポーツの振興上の一助となつたことは、大変嬉しく感謝申し上げます。

OBVは後退する。アア！場外か！。その時スルスルと相手選手が前に出る。拳が行き交う。落ち着け、ここはカウンター戦法だ、誘え！誘え！……これは心中の叫び。

OBVの右拳が相手の脇腹に喰い込む。ボーンと防具の鳴る音。「カッター！」周りからの拍手、防具を外した輝いた顔。嬉しい。

ポーツのレベルは向上し、驚くほどにし、人間に能力の限界といいうものがあるのだろうかと疑

いよいよ柏崎空手道連盟  
会長 新沢繁樹  
久保田正満

は上位を独占しています。多くの入会をお勧め致します。

月橋叙勲余話

加盟団体紹介

▼勲記の授与年月日は平成七年四月二十九日総理大臣村山富市、第三三五二九七一号。式典は五月十二日、功労内容の先に記載されたスボーツ功労所管の文部省で伝達されその後皇居で天皇陛下に拝謁。拝謁十分に前後二時間半。▼文部省から宮内庁へ移動に当つて、皇居では便所は使えません、今のうちに……と言わされましたが「年寄り集めておいてそんな……」。案の定皇居に着いてもよおす者多数。「金出しても使わんね便所だからこの際記念に」と越後のツレ……のぞとくぞろぞろにぎやかだったと。▼アゴアシ代は全て自弁。文部省のお土産は和菓子五個入。宮内庁からはドライキのようなお菓子がやはり五個いたいたそうであります。▼月橋さんは「勲五等双光旭日章」。驚いたことに御尊父の正樹氏も弟の哲(さとし)氏(陸軍少佐・戦死)も共々勲五等双光旭日章であります。「親父の勲章がどうしても見つからんが弟のものはあるので一緒に飾ったよ」と勲記額には二個並べられてあります。大変めずらしいことでしょ。うが「三個並べられれば」と残念そうに話しておられました。

(佐藤記)

# 柏崎体育団 七年度事業計画

「より強く、  
より楽しく」

※競技水準の向上、強い選手育成事業  
・北陸バスケットボール選手権大会(9・23~25)

柏崎

コーチングサミット

優秀選手強化育成補助事業  
優秀体育人表彰事業(2・3)

※普及、振興、交流事業等

・機関紙「柏崎体育」発行

・指導者確保、活用促進事業

・国際スポーツ、身障者スポーツ交流活動

・女子選手強化、リズム体操の普及

・スポーツ医学の普及啓蒙

・相談事業等の推進

・東村山少年サッカー等交流会(8・18~20)

・新春体育懇親会(1・19)

※財政基盤の確立、拡大事業  
・賛助会員の拡充、会費増収  
・スポーツ振興基金達成への努力

・市助成金増額要望

※その他

・市民スポーツ大会協力事業  
・東村山体協交流20周年、柏崎体育団創設75周年記念事業検討委員会発足

## 平成7年度 一般会計予算

(収入の部)

項目	本年度予算	前年度予算	比較増減	摘要
1 繰 越 金	1,031	1,061	△30	前年度繰越金
2 加盟団体負担金	720	700	20	
3 繰 入 金	2,000	2,000	0	賛助会計から
4 補 助 金	2,000	2,000	0	柏崎市から
5 委 託 料	440	440	0	柏崎市から
6 諸 収 入	10	10	0	
合 計	6,201	6,211	△10	

(支出の部)

項目	本年度予算	前年度予算	比較増減	摘要
1 負 担 金	51	51	0	
2 会 議 費	200	200	0	
3 交 際 費	50	50	0	
4 給 料	650	605	45	
5 旅 費	60	50	10	
6 消 耗 品 費	100	100	0	
7 印 刷 費	40	40	0	
8 通 信 費	110	110	0	
9 貨 借 料	50	300	△250	
10 東村山交流費	400	400	0	

項目	本年度予算	前年度予算	比較増減	摘要
11 体育懇親会費	60	50	10	
12 繰 出 金	0	0	0	
総務費計	1,771	1,956	△185	
1 大 会 費	150	150	0	北陸バスケットボール大会
2 表 彰 費	350	400	△50	体育人表彰
3 強 化 向 上 費	2,000	2,000	0	選手強化、競技力向上事業
4 指導者研修費	600	400	200	
5 全国大会参加助成費	200	200	0	
選手強化費計	3,300	3,150	150	
1 専門部活動費	100	100	0	
2 市民スポーツ事業費	340	340	0	市民スポーツ大会補助
3 スポーツ少年団費	100	100	0	6種目8団体
4 体育振興助成金	50	100	△50	
体育振興費計	590	640	△50	
1 機関紙発行費	350	300	50	年間3回発行
広報費計	350	300	50	
1 予 備 費	190	165	25	
予備費計	190	165	25	
合 計	6,201	6,211	△10	

編集人  
理事  
近藤康信  
山崎達興  
佐藤和夫

金子錦弥  
有坂和二  
高橋春一  
牧岡宏平  
高橋和夫  
本号に御寄稿くださいました  
方々に厚くお礼申し上げます。  
(編集部)

### 編集後記

今年度の発行については年三

回(六月・十月・一月)を予定

しています。それぞれの期に合

わせた内容を主体に取り上げま

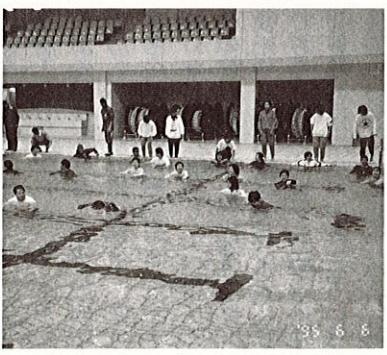
すが、各部長や各競技団体の声

(抱負・大会結果・行事等)を

載せて団員の結びつきを強いも

のにしていきたいと考えており

ます。



六月六日アクアで開かれました。産大廣川助教授を講師に先生方など四十名が受講した。

### 着衣水泳講習会